

各区地域包括支援センター運営協議会報告

平成23年8月

大阪市 健康福祉局 高齢福祉課

各区地域包括支援センター運営協議会開催状況

区	開催年月日
北	平成23年6月23日
都島	平成23年6月23日
福島	平成23年6月30日
此花	平成23年6月27日
中央	平成23年7月7日
西	平成23年6月23日
港	平成23年7月29日
大正	平成23年7月4日
天王寺	平成23年6月22日
浪速	平成23年6月30日
西淀川	平成23年6月27日
淀川	平成23年6月22日
東淀川	平成23年6月8日
東成	平成23年6月14日
生野	平成23年6月21日
旭	平成23年7月1日
城東	平成23年6月22日
鶴見	平成23年6月30日
阿倍野	平成23年6月28日
住之江	平成23年6月9日
住吉	平成23年6月21日
東住吉	平成23年7月1日
平野	平成23年6月14日
西成	平成23年6月28日

各区地域包括支援センター運営協議会での主な意見・要望

包括事業報告

- ・ 公正・中立に業務が遂行されているかを評価するなら、相談形態件数のみではなく、相談の内訳とその後のどの関係機関に繋いだのかを計上する必要があるのではないか。(生野)

包括・ランチ自己評価

- ・ 自己評価に「アウトリーチによる実態把握を行っている」とあるが、積極的に地域に出向き、他の人や、関係機関と連携していくことは、大阪府全体としての傾向でもある。(東淀川)
- ・ 項目によっては、各包括によってもバラつきがある。(平野)

包括・ランチの認知度

- ・ 住民にとって、医療機関・薬局が身近に接する相談先であることから、これらの機関に対して総合相談窓口の周知を図ることが重要である。(都島)
- ・ 地域包括支援センターの知名度を上げるため、出前相談を繰り返すなど地道な努力を続けるべき(中央区)
- ・ 広報に関連して、広報に努め積極的にPRすることは重要だが、業務量的に大丈夫なのか。認知度を上げて相談ケースをすくいあげることも必要だが、1件1件をきちんと対応すべきで、そちらの方に力点を置くべきではないか。(天王寺)
- ・ 総合相談窓口の周知についての評価が低く、毎回報告に変化がない。(生野)

包括の複数化・新包括の事業計画

- ・ 包括が増えたが、混乱なく移行できたと思う。(旭)
- ・ 新包括への助言・指導のあり方について、区包括が新包括のスーパーバイザーになるべきではないか。(住之江)

特定高齢者把握・介護予防ケアマネジメント

- ・ 口腔機能向上にも留意が必要であり、歯科医師会としても協力するので、ご活用をお願いしたい。(東住吉)

支援力強化に向けて

- ・ 居宅介護事業者もインフォーマルサービスの開発に悩んでいる。包括の業務の一つにケアマネ支援もあることから、地域住民を対象とした様々な事業実施の際には居宅介護事業者にも声をかけていただき、協力して実施できないか。そのことでケアマネも地域に入りやすくなる。(生野)

その他

- ・ 公正中立について、介護予防から介護保険に移行した場合、居宅介護支援事業者への移行等どう取り組むのか、どう公開するのか、地域住民が包括を信頼していくことに繋がる要素になる。(平野)